

報道関係者各位

株式会社自律制御システム研究所

## ACSL、5kg ペイロードの中型物流ドローン原理試作機による現場実証に成功

株式会社自律制御システム研究所（所在地：東京都江戸川区、代表取締役社長 兼 COO：鷺谷 聡之、以下「ACSL」）は、12月2日(水)～12月5日(土)に実施された、ANA ホールディングスらによるドローンでの日用品・処方箋医薬品の即時配送サービス実証<sup>※1</sup>において、5kg ペイロードの中型物流ドローン原理試作機の実環境における現場実証を実施し、合計65回、総延長160km以上の飛行をしました。

ACSLは国産の産業用ドローンを開発しており、物流、インフラ点検、災害等、様々な分野で採用されています。ドローンの制御を担うフライトコントローラを自社で開発しており、セキュアで安心なドローンの社会実装を推進してきました。特に物流領域においては、労働力不足という社会問題を解決するためのロボティクス技術として、ドローンの社会実装へのニーズが高まっており、ACSLでは多くの企業と物流領域における補助者なし目視外飛行（Level3）の実証を重ねてまいりました。

こうした各社との実証実験を通して、物流領域においてLevel4が実現した際にドローン物流の社会実装を推進するためには、現状の機体よりもペイロードを大きくし、5kg程度の輸送を可能にすることかつ飛行距離が20km程度あることが重要であることがわかってきたため、2020年8月発表の中期経営方針「ACSL Accelerate FY20」<sup>※2</sup>において、中型物流ドローンの開発、量産化を戦略の1つとして掲げ、推進しています。

本原理試作機は、12月2日(水)～12月5日(土)に福岡市にて実施されたドローンでの日用品・処方箋医薬品の即時配送サービス実証において、実環境における現場実証を実施しました。



写真) 左：中型物流ドローン試作機、右：実証において実際に荷物を運ぶ様子

今後、ACSL は本実証に用いた中型物流ドローン原理試作機の更なる現場検証を重ね、社会実装可能な物流ドローンの開発を目指してまいります。

※1

本実証実験に関するプレスリリースは以下 URL よりご覧いただけます。

<https://www.acsl.co.jp/news-release/press-release/1583/>

※2

中期経営方針「ACSL Accelerate FY20」は以下 URL よりご覧いただけます。

[https://ssl4.eir-parts.net/doc/6232/ir\\_material\\_for\\_fiscal\\_ym/85186/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/6232/ir_material_for_fiscal_ym/85186/00.pdf)

以 上

【株式会社自律制御システム研究所】

ACSL は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

株式会社自律制御システム研究所会社概要は <https://www.acsl.co.jp/company/> をご覧下さい。

【ニュースリリースへのお問い合わせ】

株式会社自律制御システム研究所（ACSL）

担当：廣嶋（ひろしま）

Tel: 03-6661-3870 Email: [sales@acsl.co.jp](mailto:sales@acsl.co.jp)